

事業概要

第1号

平成10年度

富山県中央植物園

目 次

I 庶務		IV 資料収集事業	
沿革	1	標本資料	14
整備概要	1	文献資料	14
利用案内	1	二口善雄氏寄贈植物画 および関連資料	15
組織	3	植物関連資料	15
平成10年度招聘客員研究員	4		
講師等派遣	4	V 調査研究事業	
委員等	4	研究体制	16
研修生等の受入	4	研究課題	16
視察研修等受入	5	研究報告4号の発行	16
県政バス	5	平成10年度研究発表	16
市民バス	5	論文・学会等発表	17
		研究集会	17
II 植物管理事業		VI 参考資料	
収集植物	6	施設概要	18
雲南省からの導入植物	7	施設平面図	19
交換・寄贈による導入植物	7	整備事業費	20
自生地採集による導入	8	利用統計	20
購入植物	8	例規	22
III 教育普及事業			
催事記録	9		
印刷・出版	11		
新聞・雑誌への寄稿	12		
新聞・テレビ等の取材	12		
リファレンス状況	13		
新聞記事	13		

I 庶務

1. 沿革

富山県では県内の優れた植生地や公園・緑地などをそれぞれ特色のある専門植物園として整備し、これらをネットワーク化することにより、県土全体として一つの植物公園の形成をめざす全国的にもユニークな「富山県植物公園構想」を推進している。

「富山県中央植物園」は、この植物公園ネットワークの核となる施設として平成元年から整備が進められ、平成5年10月5日に屋外展示園を開園し、その後、展示温室やサンライトホール、中国雲南省の植物と「石林の石」を配した雲南コーナー等を整備して平成8年4月26日に全面開園した。平成10年には新たに「雲南温室」の建設が始まり、平成12年春の完成・公開が予定されている。

昭和58年 4月	「富山県民総合計画」において植物公園設置の検討
昭和60年 2月	「富山県グリーンプラン」において植物公園設置の計画提示
昭和60年 7月	「富山県植物公園構想懇談会」設置
昭和63年12月	同懇談会において「富山県植物公園基本構想」策定
平成元年 6月	「富山県植物公園整備委員会」設置
平成元年11月	同委員会から「富山県植物公園について」報告 (中央植物園・専門植物園の機能分担、整備方向、候補地等)
平成 2年 3月	富山県中央植物園設計競技
平成 2年 8月	基本設計
平成 3年 5月	造成工事起工式
平成 5年 10月	屋外展示園開園
平成 7年 9月	建築工事定礎式
平成 8年 4月	全面開園
平成 8年 5月	中国雲南省昆明植物研究所と友好協定調印
平成10年 8月	全面開園後の入園者30万人達成
平成10年10月	雲南温室着工

2. 整備概要

- (1) 所在地 富山県婦負郡婦中町上轡田42
- (2) 敷地面積 24.7 ha
- (3) 主要施設

① 管理研修棟		1棟 2,090㎡
② 展示温室(熱帯雨林植物室、ラン温室、熱帯果樹室、高山植物室)		4棟 2,177㎡
③ 栽培温室(熱帯温室、暖温帯室、温帯温室、冷室、雲南温室他)		5棟 1,077㎡
④ サンライトホール・エネルギー棟		1棟 1,614㎡
- (4) 展示植物 約5,000種類、93,000本(株)

・屋外展示園	約1,700種類	
・展示温室内	約1,100種類	
・栽培温室・圃場	約2,200種類	
- (5) 事業費 約92億円 財源: 地域総合整備事業債(ふるさとづくり事業)
- (6) 整備期間 平成元年度～平成7年度

3. 利用案内

- (1) 開園時間 午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
冬季(11月～2月)は午前9時～午後4時30分、入園は午後4時まで
- (2) 休園日 毎週木曜日(木曜日が国民の祝日の場合はその翌日)、国民の祝日の翌日、および12月28日～1月4日

(3) 入園料

区分	個人	団体(20人以上)
大人(高校生以上)	600円	480円
小人(小・中学生)	300円	240円

減免(全額)

- ① 小学校、中学校、高等学校、盲学校、聾学校、養護学校の児童又は生徒が、毎月第2・4土曜日において入園するとき。
- ② 県内の児童・生徒、引率者が教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として入園するとき。
- ③ 県内の児童福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設に入所している者およびこれらの引率者が入園するとき。
- ④ 県内に居住する身体障害者手帳の所持者及びその介添者が入園するとき。
- ⑤ 県内に居住する療育手帳を所持する者及びその介添者が入園するとき。
- ⑥ 県内に居住する精神障害者保健福祉手帳の所持者及びその介添者が入園するとき。

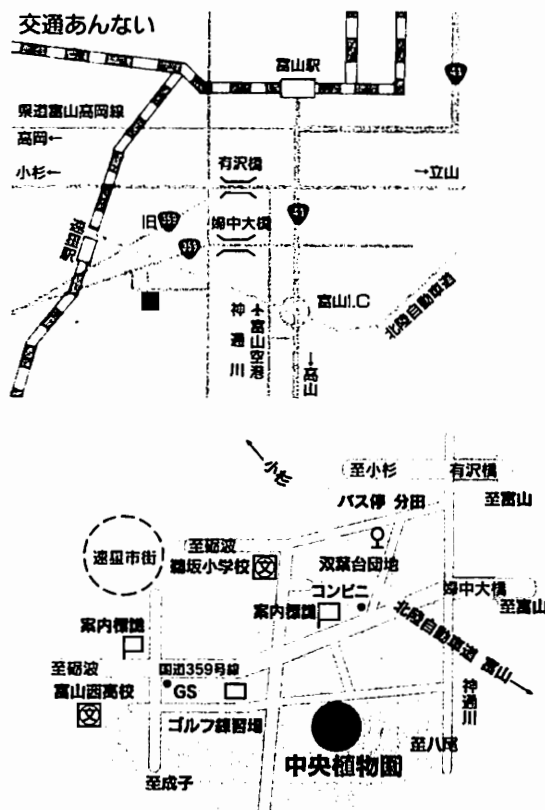
(4) 交通機関

●バス利用

- ・富山地鉄バス JR富山駅(12番乗場)発 八尾行き(長沢又は熊野経由) / 山田温泉行き / 婦中保養センター行き / 萩の島行き 分田(ぶんでん) 停留所下車、徒歩約20分

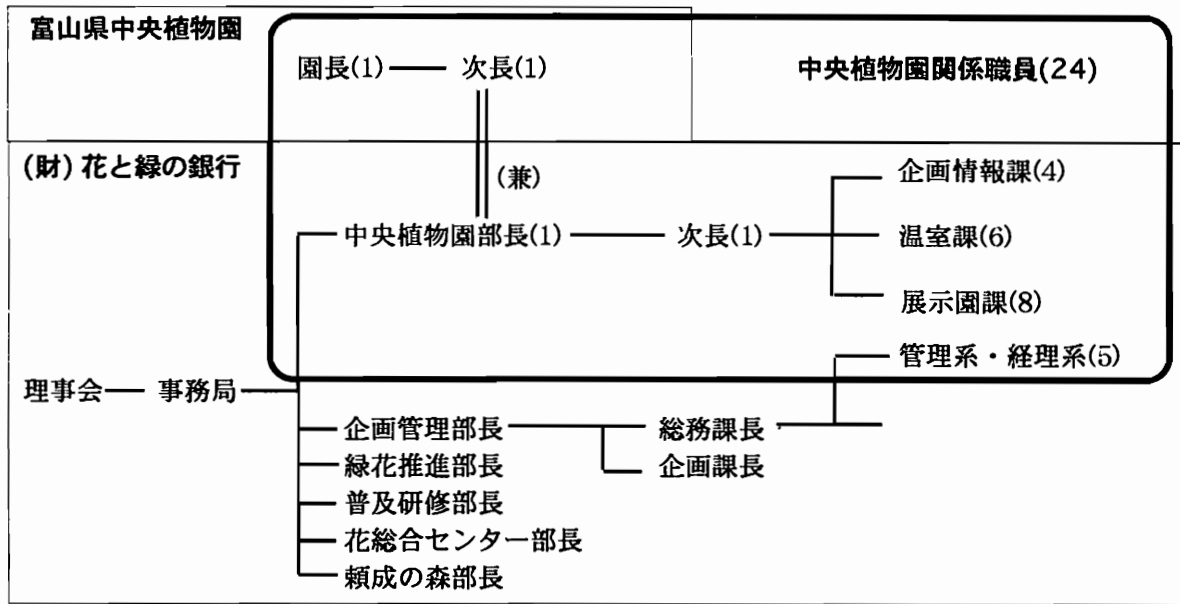
●自動車利用

- ・富山市中心部より約15分
- ・北陸自動車道富山インターより婦中大橋経由約15分
- ・JR速星駅より約8分



4. 組織

(1) 組織図



(2) 職員

富山県中央植物園

園長	黒川 道
次長	小見 豊

(財) 花と緑の銀行 中央植物園部

部長 (温室課長兼務)	小見 豊	県中央植物園次長
次長 (展示園課長兼務)	小坂 道弘	県出向職員(主幹)
企画情報課	課長 中田 政司 主任技師 橋本 伸一 技師 高橋 誠郎	県出向職員(副主任研究員) 県出向職員(技師)
温室課	主任研究員 神吉 敏成 技師 戸田 めぐみ 技師 兼本 隆信 技師 大栗 原林	県出向職員(主任研究員)
展示園課	主任研究員 大宮 徹之 主任研究員 山下 利明 技師 志内 浩二 技師 桐林 野 豊 嘱託 浅野 弘宣 嘱託 有澤 秀 宜 嘱託 有桐 林 雄	県出向職員(主任研究員) 県出向職員(主任研究員)

(財) 花と緑の銀行 企画管理部(一部)

総務課 (一部)	主任 荒川 徹一 嘱託 恒島 幸子 嘱託 牧野 綾子 嘱託 老田 ひとみ
----------	---

5. 平成10年度招聘客員研究員

氏名	現職	指導分野	期間
伊藤 浩司	札幌国際大学教授	北方植物の研究史と植物相	平成10. 11.15～11.17
角野 康郎	神戸大学助教授	水草の分類と保全	平成10. 11. 25～11. 27
清水 建美	信州大学名誉教授	高山植物の植物地理学	平成10. 12. 1～12. 4

6. 講師等派遣

年月日	氏名	内容	依頼者
10. 8. 6	中田 政司	常陸宮同妃両殿下ご視察の説明補助	富山県生活環境部長
10.9.20	橋屋 誠	「有峰の秋を楽しむ集い」講師	富山県有峰青少年の家所長
10.9.26	橋屋 誠	「きのこ狩りを楽しむ集い」講師	(財)富山県教職員厚生会会長
10.10.11	橋屋 誠	「森林浴とキノコ狩り」講師	頼成の森森林科学館館長
10.10.12～ 11.3.31	中田 政司	富山大学非常勤講師	富山大学長
10.10.26	中田 政司	海岸植物の育成に関する指導	朝日町長

7. 委員等

年月日	氏名	内容	依頼者
平成10年度	黒川 遼	国立科学博物館筑波研究資料センター 筑波実験植物園運営委員会運営委員	国立科学博物館長
平成10年度	黒川 遼	(社)日本植物園協会評議員	(社)日本植物園協会
平成10年度	黒川 遼	(財)服部植物研究所評議員	(財)服部植物研究所
平成10年度	中田 政司	編集委員	植物地理・分類学会
平成10年度	神戸 敏成	絶滅危惧植物対策委員会委員	(社)日本植物園協会
平成10年度	橋屋 誠	運営幹事、編集委員	関西菌類談話会
平成10年度	大原 隆明	北陸地区ニュース連絡委員	日本植物分類学会

8. 研修生等の受入

(1) 植物栽培技術研究者交流事業による中国雲南省昆明植物研究所からの派遣研修生

期間	氏名	現職
平成9.10～10.10	李 景秀 (Li Jingxiu)	助理工程師
9.11～10.11	張 彦萍 (Zhang Yanping)	助理工程師
10.10～	尹 擘 (Yin Qing)	工程師
10.11～	匡 建 (Kuang Jian)	助理工程師

(2) 平成10年度博物館実習生

氏名	所属	期間
山田 晋子	富山大学理学部生物圏環境科学科	平成10. 8. 3～8. 13
立野 朋子	上越教育大学学校教育学部	平成10. 8. 3～8. 13
川井 雅美	富山大学教育学部情報教育課程教育情報コース	平成10. 8. 17～8. 28
東軒有希代	滋賀県立大学環境科学部	平成10. 8. 17～8. 28

(3) 平成10年度中堅教員研修受講者(平成10. 8. 25~8. 27)

氏名	所属	氏名	所属
大野木祐子	大沢野小学校	上岸榮里子	速星小学校
青山 恵子	大町小学校	扇澤 文夫	津沢中学校
笠嶋 友子	保内小学校	山腰 誠	大沢野工業高等学校
久田美乃路	福光東部小学校	川上さとみ	利田小学校
龍沢 伸明	龍谷富山高等学校	寺崎健太郎	三日市小学校

9. 視察研修等受入

年月日	視察研修者	内 容	人数
平成10.5.1	富山県林業カレッジ訓練生1年生	富山県中央植物園の概要と特色	5
10. 5.12	富山国際職藝学園生徒・教職員	造園用樹木の種類とその栽培実態	58
10. 5.22	ダーラム市都市緑化視察団他	園内視察	7
10. 5.29	大連市都市建設視察団他	園内視察	6
10. 6.23	新潟県土木部都市計画課他	冬期の運営管理、植物管理他	4
10. 6.17	神奈川県農政部農業技術課	運営体制、運営方法、収支他	2
10. 7. 1	石川県農林水産部長他	園内視察	6
10. 7. 8	富山県立上市高校総合学科1年生	園内見学-「産業社会と人間」	18
10. 8.18	石川県松任市緑の少年団・指導者	オリエンテーリング	51
10. 9. 9	高知県議会文化厚生委員会	富山県植物公園構想及び施設概要	12
10. 9. 9	雲南富山友好協会訪日団	園内視察	5
10. 9.28	韓国江原民俗舞踊団他	園内視察	32
10.10. 2	婦中町立速星中学校第2学年	職場訪問学習	5
10.10. 6	富山県農業所得事務担当者	園内視察	60
10.10.12	秋田県立農業科学館長	企画展示、観察会他	1
10.10.13	中国雲南省少数民族民間芸術団他	園内視察	26
10.10.24	遼寧省外事弁公室主任一行	園内視察	6
10.10.25	立山町「町民のバス」	園内見学	45
10.10.27	富山市立和合中学校第2学年	職場訪問学習	6
10.11.13	射水郡幼稚園教育研究会	植物園の利用方法	11
11. 1.25	(財)群馬県フラワー協会	施設の管理運営体制他	4

10. 県政バス

年月日	内容	年月日	内容
10.5.16	国際交流	10.7.10	とやまの植物園めぐり
10.5.20	街の緑・里の緑	10.7.15	花の名所
10.5.22	花の名所めぐり	10.7.17	一般
10.5.27	花の名所めぐり	10.9.9	健康づくり
10.6.24	一般	10.10.7	一般
10.6.26	街の緑・里の緑	10.10.16	花の名所めぐり
10.6.26	花の名所	10.10.23	街の緑・里の緑
10.7.8	一般	10.11.2	とやまの植物園めぐり

11. 市民バス

富山市市民バス教室

6/8 豊田校下、6/19 新庄校下、6/23 呉羽校下、7/3 柳町校下、9/4 西田地方校下、
9/18 五番町校下・倉垣校下、9/22 桜谷校下

Ⅱ 植物管理事業

1. 収集植物

区 画	代表的な植物	種類数	個体数
展示温室		1,046	5,782
熱帯雨林植物室	ビヨウタコノキ、ヘゴ、ゾウタケ	410	1,472
ラン温室	カトレヤ、デンドロビウム、バンダ	236	2,157
熱帯果樹室	バナナ、パパイヤ、パイナップル	291	1,275
高山植物室	コマクサ、クロユリ、プリムラ類	109	878
屋外展示園		1,639	61,038
<u>世界の植物ゾーン</u>		<u>886</u>	<u>42,744</u>
ツツジ・シャクナゲ園	レンゲツツジ、西洋シャクナゲ	83	5,220
ボタン・シャクヤク園	中国ボタン、西洋シャクヤク	100	1,660
香りの植物	ニオイスマレ、ラベンダー、バラ	57	2,924
繊維の植物	ワタ、コウゾ、ミツマタ、ケナフ	34	755
染めの植物	ベニバナ、アイ、コガネバナ	49	3,260
芝生広場	アメリカハナノキ、サルスベリ	59	7,198
サクラ・ウメ園	ウメ、モモ、リンゴ、カリン	127	3,102
花のプロムナード	ソメイヨシノ、サトザクラ	21	1,223
クレマチス園	テッセン、クレマチス類	133	434
球根植物	原種チューリップ、ヒガンバナ	58	12,383
雲南の植物	ハンカチノキ、シナユリノキ	78	513
北米の植物	ユリノキ、カシワバアジサイ	59	1,216
温室周辺	ワシントンヤシ、オキナヤシ	28	2,856
<u>日本の植物ゾーン</u>		<u>753</u>	<u>18,294</u>
シイ・カシの森	ヤブツバキ、スタジイ、タブノキ	47	489
クリ・コナラの森	クリ、クヌギ、コナラ、ガマズミ	142	2,003
ミズナラ・ブナの森	ブナ、ミズナラ、ユキツバキ	158	2,405
沼沢・溪谷の植物	ツリフネソウ、クリンソウ	96	1,407
低地草原	オミナエシ、キキョウ	55	1,118
山地草原	ゼンテイカ、マツムシソウ	68	2,634
湿地の植物	ミズアオイ、アサザ、コウホネ	90	5,469
ロッケリー	フジアザミ、エッチュウミセバヤ	23	594
河原の植物	アキグミ、カワラケツメイ	28	830
海岸の植物	クロマツ、ハマナス、イソギク	46	1,345
管理区域		2,277	25,745
栽培温室、栽培圃場	雲南の植物 琉球列島の植物、他	542 約1,500	1,909 約7,500
駐車場、入口広場	トチノキ、	235	16,336
園全体 平成10年度末		約4,962	約92,565

2. 雲南省からの導入植物

平成5年6月に合意した第一次植物導入計画、および平成6年12月に合意した第二次植物導入計画に基づき、昆明植物研究所を通じて中国雲南省の植物を導入している。これまでの導入経過を下表にまとめた。平成10年度の導入は、主に熱帯・亜熱帯産の植物が中心であった。

導入回	導入年月日	導入植物	種類数	個体数
第一次導入				
第1回	平成5年10月	ポタン属、トウツバキなど(苗/種子)	67	300
第2回	平成6年3月	シャクナゲ属、サクラソウ科など(苗/種子)	39	126
第3回	平成6年11月	シャクナゲ属、サクラソウ科など(苗/種子)	18	151
第二次導入				
第4回	平成7年4月	雲南甘草、華山松など(種子)	16	-
第5回	平成7年10月	迎春柳、皮袋香、山蠟梅など(苗/種子)	25	134
第6回	平成8年2月	毛葉柿、峨眉薔薇、柳蘭など(種子)	57	-
第7回	平成8年2月	烏頭、野八角、鶏肉参など(苗)	46	257
第8回	平成9年1月	柏木、川貝母、雲南鉄杉など(種子)	40	-
第9回	平成9年1月	喜樹、紅姜花、白蘭花など(苗)	68	339
第10回	平成9年12月	牛舌草、鉄刀木、使君子など(苗/種子)	106	107
第11回	平成10年12月	牛蹄藤、大葉桂、紅杉など(苗)	99	495
"	平成11年1月	光葉楓、小葉木蓮、直茎苺など(種子)	13	-
(予定)	(予定)		(予定)	(予定)
第12回	平成12年1月		120	約600
合 計			(予定) 662	(予定) 約2,509

3. 交換・寄贈による導入植物

(1) 個人からの寄贈

氏名(敬称略)	導入植物
飯田 久	コショウボク他 種子7点
奥野 哉	チョウジフクシア他 3点
唐澤 耕司	ラン科植物他 15点
杉原 学	ナンキョウ
竹内 美和	オニヒノキシダ
藤縄登志男	アカミノイヌツゲ
堀田 満	テリハノギク他 31点
宮川 敏	<i>Johannesteijamannia altiflora</i> (Rchb. f.) & Zoll.) H.E.Moore
山田 弘	スズカカンアオイ

(2) 植物園協会種苗交換による導入

年月日	植物園	導入植物
1998.4.7	フラワーセンター大船植物園神戸	エゾスカシユリ、イワトユリ
1999.2.18	東京大学理学部附属植物園	カワミドリ他8点
1999.2.24	市立森林植物園	アスペラタトウヒ 他4点
1999.3.14	塩野義製薬(株)油日ラボラトリーズ	アオモジ

(3) 種子交換による導入

年月日	植 物 園	導入植物
平成10. 5	コペンハーゲン大学植物園(デンマーク)	<i>Carduus nutans</i> L. 他60種 <i>Lychnis chalconica</i> L. 他6種 <i>Adenophora pereskiiifolia</i> (Fisch.) G.Don. f. 他20種 イランイランノキ他25種 <i>Lychnis coronaria</i> (L.) Desr. 他15種 <i>Bupleurum falcatum</i> L. 他15種
平成10. 5	ベルリン-フンボルト大学植物園(ドイツ)	
平成10. 7. 31	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学 研究所植物園(ハンガリー)	
平成10. 9	マラカイ大学植物園(ベネズエラ)	
平成11. 2. 4	ハンガリー科学アカデミー生態・植物学 研究所植物園(ハンガリー)	
平成10. 3. 31	ブザンソン大学植物園(フランス)	

4. 自生地採集による導入

採集年月日	採 集 地	採 集 植 物	種類数	個体数
平成10. 4. 21	富山県婦負郡八尾町袖木、宮ヶ島	ナガハシスミレ他	35	134
平成10. 9. 10	富山県砺波市頼成	ユキグニミツバツツジ他	20	183

5. 購入植物

(1)温室

オクトリカブト、オオシロソケイ、ウシノシタ、*Phalaenopsis gigantea* 他 68種 432株

(2)展示園

スイフヨウ、サフラン、*Allium*他 9種 800株

ヒマラヤザクラ、イソトマ、ペロニカ他 17種 1,333株 (工事植栽)

Ⅲ 教育普及事業

1. 催事記録

(1) 企画展示

開催場所：サンライトホール、開催時間：9:00～17:00（11月～1月は16:30まで）

催事名称	期間	内容
野生ラン展	5/8（金）～5/10（日）	富山県蘭協会と共催展示
クレマチス展	5/15（金）～6/10（水）	クレマチス園での展示
植物写真展	7/3（金）～7/29（水）	一般から募集した写真作品の展示
食虫植物展	8/14（金）～8/19（水）	食虫植物の生展示とパネル展示
植物画展	9/25（金）～10/7（水）	フェアリーリングの会植物画展
千支にちなんだ植物展	12/11（金）～1/15（金）	トラとウサギに因む植物展示
平成10年度研究展	2/19（金）～3/3（水）	職員の研究活動の発表
私の植物画展	3/5（金）～3/28（水）	一般から募集した植物画作品の展示

(2) 観察会・植物教室

催事名称	講師	開催日	開催時間	開催場所	参加者数
夜桜観賞	-	4/4(土) 5(日)	18:00 ～21:00	植物園内	4,298
クレマチスの観察と栽培法	職員	6/7(日)	13:00 ～16:00	実習室植物園内	26
夏休み小学生植物教室	職員	7/27(月) ～29(水)	10:00 ～16:00	実習室樹木園	20
夏休み中学生植物教室	職員	8/3(月) ～5(水)	10:00 ～16:00	実習室樹木園	4
夜の熱帯植物観察会	-	8/8(土) ～9(日)	19:00 ～21:00	植物園内	318
親子植物教室『どんぐりで遊ぼう』	職員	10/18(日)	9:00 ～16:00	頼成の森 森林科学館	40

(3) 講座・講習会

催事名称	講師	開催日	開催時間	開催場所	参加者数
第10回植物画講習会	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	4/18(土) ・19(日)	10:00 ~16:00	研修室	48
植物学講座 『スマイルの観察』	橋本 保 (前筑波実験植物園長)	4/26(日)	13:00 ~16:00	植物園内 実習室	23
植物写真の撮影法	前仏 勇 (富山県写真家協会参与)	5/3(日)	13:00 ~16:00	植物園内 研修室	39
講演会 『世界の野生ランを訪ねて』	唐澤耕司 (国際ラン委員会委員)	5/10(日)	13:00 ~16:00	研修室	80
和紙を作ってみよう	東 秀幸・上口恵子 (平村和紙工芸研究館)	5/29(金) ~31(日)	10:00 ~16:00	ガライホール	144
植物学講座 『藻類研究法』	中野武登 (広島大学理学部助教授)	7/11(土) ・12(日)	10:00 ~16:00	実習室	8
植物染め講習会	足立紀美子 (女子美術大学講師)	7/25(土) ・26(日)	10:00 ~16:00	実習室	45
やさしいバイオテクノロジー	職員	9/12(土) ・13(日)	10:00 ~16:00	研修室実 習室	7
第11回植物画講習会	豊田路子・岡田宗男 (フェアリーリングの会)	9/26(土) ・27(日)	10:00 ~16:00	研修室	47
第6回TOYAMA植物フォーラム『ボランティア活動と植物園』	出口正之 (国立総合研究大学院教授) 大田道人 (富山市科学文化センター主任学芸員) 老川順子 (英国レディング大学大学院) 神戸信和 (元通産省地質調査所地質表本館長) 大場達之 (前千葉県立中央博物館副館長)	11/15(日)	13:00 ~16:00	研修室	70
平成10年度研究発表「植物園を支える研究活動(Ⅲ)」	職員	2/21(日)	13:00 ~16:00	研修室	40

(4) 月例行事

●親子オリエンテーリング(7回)

親子で植物の問題に取り組みながら園内を散策(開催時間:13:00~16:00)

開催日:4/5(日)、5/17(日)、6/14(日)、7/12(日)8/9(日)、9/1(日)、10/11(日)

●日曜植物案内(11回)

園内の植物をテーマに沿って植物園の職員が解説(開催時間:11:00~12:00)

開催日	テーマ	10/4 (日)	キクのいろいろ
4/5 (日)	高山植物	11/1 (日)	紅葉のひみつ
6/7 (日)	クレマチス	12/6 (日)	熱帯の花木
7/5 (日)	初夏の植物	1/10 (日)	有用植物
8/2 (日)	染めの植物	2/7 (日)	熱帯の果物
9/6 (日)	秋の七草	3/7 (日)	ランのいろいろ

2. 印刷・出版

(1) 「植物園だより」の発行

●1998年4月号(通巻7号)

特集-中国雲南省の植物と日本の植物～第5回TOYAMA植物フォーラムから/活動報告-冬のイベントから/私の研究-高山植物とその環境/温室だより-ロドデンドロン・デコルム/話題の植物-ウワバミソウ/屋外展示園のみどころ-スプリング・エフェメラル/植物学解説シリーズ 植物の形態(7) かたちと名前/専門植物園ガイド-林業試験場樹木園

●1998年7月号(通巻8号)

特集-夜の熱帯植物/活動報告-春のイベントから/温室だより-ミラクルフルーツ/話題の植物-ウツボカズラ/屋外展示園のみどころ-水生植物/植物学解説シリーズ 植物生態学(1)

●1998年10月号(通巻9号)

特集-常夏の国からの贈りもの～トロピカルフルーツ/活動報告-食虫植物展ほか/私の研究-植物の形態と分類/温室だより-フクベノキ/話題の植物-キバナノツノゴマ/屋外展示園のみどころ-いろいろな種子/植物学解説シリーズ 植物生態学(2) 植物群落の分布からみた富山県

●1999年1月号(通巻10号)

特集-ボランティア活動と植物園～第6回TOYAMA植物フォーラムから/活動報告-富山県中央植物園クリーンデイほか/温室だより-レリア・アンケプス/話題の植物-今年の干支「卯」にちなむ植物 デンドロビウム・アンテナツム/屋外展示園のみどころ-振り返り/植物学解説シリーズ 植物生態学(3) 植物群落の遷移

(2) 「富山県中央植物園植物管理記録」第3号の発行

雲南省からの導入植物(3)/雲南省から導入した植物の屋外植栽(3)/自生地採集による導入植物/寄贈による導入植物/1998年開花結実状況/1998年気象記録

(3) 「富山県中央植物園研究報告」第4号の発行

調査研究事業参照

(4) 園内ちらし「これだけは覚えて帰ろう!-植物園で見ごろの植物」の発行

年月日	掲載植物
1998. 8. 1	ダーリングトニア、ゴクラクチョウカ、ゴレンシ
8.20	フクベノキ、モンステラ、サボジラ
9. 1	フクベノキ、モンステラ、バナナ
10. 1	フクベノキ、熱帯スイレン、バナナ
11. 1	フクベノキ、モンステラ、バナナ / ユチャ、サフラン、サツマノギク
11.21	カトレヤ、スイレン、バナナ / ユチャ、イソギク、イロハモミジ
1999. 1. 6	ツバキカズラ、ドンベヤ、バナナ
1.22	パフィオペディラム、ルリゴクラクチョウカ、バナナ
2.11	バンダ、熱帯スイレン、バナナ
2.26	コチョウラン、ツンベルギア、報春花 / シナマンサク、ロウバイ、ウメ
3.24	コチョウラン、ヒスイカズラ、報春花 / ニオイスマレ、ミツマタ、ウメ

3. 新聞・雑誌への寄稿

(1) 北陸中日新聞「中央植物園の花と緑」

年月日	掲載植物	執筆者	年月日	掲載植物	執筆者
10.4.3	ニホンズイセン	山下 寿之	10.10.2	エッチュウミセバヤ	中田 政司
10.4.10	カタクリ	山下 寿之	10.10.9	ハマギク	中田 政司
10.4.17	ヒスイカズラ	大原 隆明	10.10.16	ドングリ	志内 利明
10.4.24	エーデルワイス	吉田めぐみ	10.10.23	サフラン	橋屋 誠
10.5.1	ハンカチノキ	中田 政司	10.10.30	リュウノウギク	中田 政司
10.5.8	ボタン・シャクヤク	山下 寿之	10.11.6	アメリカハナノキ	高橋 一臣
10.5.15	クレマチス	神戸 敏成	10.11.13	イソギク	中田 政司
10.5.22	メコノプシス	吉田めぐみ	10.11.20	ラクウショウ	山下 寿之
10.5.29	カキツバタ・アヤ メ・ハナショウブ	橋屋 誠	11.11.27	ツワブキ	中田 政司
10.6.5	ハマナス	中田 政司	10.12.4	パンダ	神戸 敏成
10.6.12	サクララン	神戸 敏成	10.12.11	樹木の冬越し	山下 寿之
10.6.20	アジサイ	志内 利明	10.12.18	ポインセチア	大原 隆明
10.6.26	コウホネ	中田 政司	10.12.25	ダイダイ	兼本 正
10.7.17	アイ	橋屋 誠	11.1.8	ウサギゴケ	中田 政司
10.7.27	チマキザサ	高橋 一臣	11.1.15	熱帯スイレン	大原 隆明
10.7.31	夜の熱帯植物	大原 隆明	11.1.22	パイナップル	兼本 正
10.8.7	ハエトリグサ	兼本 正	11.1.29	プリムラ・マラコイデス	神戸 敏成
10.8.14	食虫植物	兼本 正	11.2.5	フラグミペディウム・ ベセアエ	神戸 敏成
10.8.21	パフィオペディラム	神戸 敏成	11.2.12	ゴクラクチョウカ	大原 隆明
10.8.28	秋の七草	橋屋 誠	11.2.26	ツバキカズラ	神戸 敏成
10.9.4	キバナノツノゴマ	高橋 一臣	11.3.5	マンサク	大宮 徹
10.9.11	ミズアオイ	神戸 敏成	11.3.12	アオキ	志内 利明
10.9.18	ヒガンバナ	大原 隆明	11.3.19	ミツマタ	橋屋 誠
10.9.25	スイフヨウ	高橋 一臣	11.3.26	ツバキ	高橋 一臣

(2) その他

年月	掲載誌	タイトル	執筆者
平成10. 4	農耕と園芸	「新花き探索」 サツマイナモリ	神戸 敏成
10. 6	農耕と園芸	「新花き探索」 ジンチョウゲ属2種	神戸 敏成
10. 8	農耕と園芸	「新花き探索」 キアノティス・ヴァーガ	神戸 敏成
10. 10	農耕と園芸	「新花き探索」 ウィクストロエミア・ リキアンゲンシス	神戸 敏成
10. 12	農耕と園芸	「新花き探索」 アフリカコマツナギ	神戸 敏成

4. 新聞・テレビ等の取材(職員が対応したもの)

- (1) 新聞 9件
- (2) テレビ 10件
- (3) ラジオ 8件
- (4) 雑誌等 2件

5. リファレンス(質問対応)状況

	平成8年度(7月から)	平成9年度	平成10年度
総 数	140	243	334
内訳1 方法別			
(1) 口頭	65	84	118
(2) 電話	73	153	206
(3) 文書	2	6	9
内訳2 内容別			
(1) 同定(うちキノコ)	73 (50)	79 (58)	129 (73)
(2) 園芸相談	25	73	103
(3) その他	42	91	102
内訳3 業種別			
(1) 一般	127	202	266
(2) マスコミ	11	35	59
(3) 植物関係者	2	6	9

6. 新聞記事(定期掲載を除く)

年 月	記 事 内 容
1998. 4	夜桜鑑賞、ヒスイカズラの開花他 4件
5	メコノプシスの開花、野生ラン展他 9件
6	クレマチスの観察と栽培他 5件
7	植物写真展(キヨスマウツボ)他 4件
8	フクベノキの果実、食虫植物展、入園者30万人達成他 14件
9	やさしいバイオテクノロジー講座、植物画展他 6件
10	エッチュウミセバヤの開花他 4件
11	第6回TOYAMA植物フォーラム、ポインセチアの紅葉他 7件
12	干支に因んだ植物展他 3件
1999. 1	温室に咲く花、私の植物画展、ヤブサメとマガン他 6件
2	植物園を支える研究活動発表会他 5件
3	私の植物画展他 8件

IV 資料収集事業

1. 標本資料(点数)

	平成3～9年度	平成10年度	合計
購入標本	古瀬 義 コレクション 3,000	なし	3,000
収集標本	17,000	2,000	19,000
寄贈標本 (敬称略)	里見信生(ミズユキノシタ他) 3,533 清水建美(トガマダイオウ他) 2 太田道人(ハマハナセンブリ) 1 小路登一(イガガヤツリ) 1 長井真隆(ミゾイチゴツナギ) 1	古瀬延子(台湾カモノハシ他) 157 正道美子(イヌドクサ他) 54 吉崎正雄・藤野広春 (キンキマメザクラ他) 12 長井真隆(クマツツラ他) 4 中川定一(シラゲヒメジソ他) 1 本谷二三男(キヨスミウツボ) 1 加藤治好(ミヤマネズ) 1	3,768
合計	23,538	2,230	25,768

2. 文献資料(冊数)

(1) 単行本

		平成3～9年度	平成10年度	合計
購入	洋書	872	9	881
	中国書	197	52	249
	和書	696	46	742
交換 寄贈	洋書	7	45	52
	中国書	13	5	18
	和書	1,080	26	1,106
合計		2,865	183	3,048

(2) 雑誌

		平成3～9年度	平成10年度	合計
購入	洋書	1,551	285	1,836
	中国書	484	39	523
	和書	1,455	219	1,674
交換 寄贈	洋書	168	89	257
	中国書	48	4	52
	和書	344	78	422
合計		4,050	714	4,764

(3) 特色ある収集文献

- ・ Curtis's Botanical Magazine Vols. 1~184 (平成3年度購入)
- ・ ラン科植物基本文献 Reichenbachia 他23点 (平成5年度購入)
- ・ 植物学関係和書(和綴じ本) 本草綱目啓蒙、本草図譜 他50点 (平成5・8年度購入)
- ・ 植物学基礎文献マイクロフィッシュ42点 (平成7年度購入)
- ・ 植物標本マイクロフィッシュ19点 (平成8年度購入)

3. 二口善雄氏寄贈植物画および関連資料

わが国を代表する植物画家二口善雄画伯から、平成7年6月に作品1744点、歳書26点が寄贈された。この中には二口画伯の代表作である理科図集、日本椿集原画が含まれている。二口画伯は平成9年10月5日に96歳で逝去されたが、後にご遺族と関係者から氏の遺品50点、写真50点が寄贈された。

4. 植物関連資料

(1) 民具・民芸品の収集展示

	収集資料	展示区画
展示	①シャクヤクの根(乾燥品) ②ヒノキ材の腰掛け、手桶、湯玉 ③コウゾの樹皮、和紙製品 ④藍染めのテーブルクロス、麻布 ⑤ヤマザクラの樹皮と桜皮細工の茶筒、茶托 ⑥ドングリとマツボックリのおもち(手作り) ⑦笹野一刀彫りのお鷹ポップと尾長鳥 ⑧飛騨高山、イチイの一刀彫りの達磨 ⑨マルバマンサクの枝とかんじき ⑩ケヤキ製の白と杵(ミニチュア) ⑪キハダの樹皮とオウバク、「熊の胆」、「百草丸」 ⑫カササゲの乾燥品し菅笠(岸野有三氏寄贈) ⑬海流漂着果実・種子(中西弘樹氏寄贈) ⑭茶の製品(パタパタ茶、煎茶) ⑮シナノキの樹皮と科織で作った帽子 ⑯球果植物の果実(マツボックリ) ⑰メタセコイヤの化石 ⑱カレーのスパイス(ターメリック、クローブ他) ⑲芭蕉布(兼本正氏寄贈) ⑳バニラビーンズとバニラを使った菓子	ボタン・シャクヤク園 香りの植物 繊維の植物 染めの植物 サクラ・ウメ園 シイ・カシの森 クリ・コナラの森 ミズナラ・ブナの森 ミズナラ・ブナの森 芝生広場 ミズナラ・ブナの森 湿地の植物(低地) 海岸の植物 ボタン・シャクヤク園 山地草原 世界の植物ゾーン 世界の植物ゾーン 熱帯雨林植物室 熱帯雨林植物室 ラン温室
収蔵	・ Tagua (ソウゲヤシ)の実と加工品(萩原俊彦氏寄贈) ・ ゴバンノアシの果実(奥野哉氏寄贈) ・ コーヒー豆(東京アライドコーヒーロースターズ(株)寄贈) ・ 和ろうそくとろうそくの芯 ・ ひょうたん製の民具(カリンバ、コテカ) ・ 花いぐさ ・ 桐製の筆筒(ミニチュア)	他 50点

(2) その他

- ・ 植物学関係論文別刷り一式(里見信生氏寄贈)
- ・ ツェンベルク記念碑の拓本(里見信生氏寄贈)
- ・ 早田文蔵博士の自筆原稿(里見信生氏寄贈)

V 調査研究事業

1. 研究体制

園長以下研究員、技師の11名

氏名	職	担当分野・専門分野
黒川 道	園長	植物分類学、地衣類
中田 政司	企画情報課長	植物細胞分類学、植物細胞遺伝学、染色体、キク属
大宮 徹	主任研究員	植物分類学、植物形態学、植物解剖学、マメ科
山下 寿之	主任研究員	植物生態学、植物社会学、常緑広葉樹林、種子生態
神戸 敏成	主任研究員	植物育種学、植物組織培養、花き植物、絶滅危惧植物
橋屋 誠	主任技師	植物分類学、菌類(キノコ)、地域フロラ
吉田めぐみ	技師	植物生態学、種生物学、高山植物
兼本 正	技師	植物細胞分類学、琉球列島フロラ、イラクサ科
高橋 一臣	技師	植物分類学、酵素多型、タケ科
大原 隆明	技師	植物分類学、地域フロラ、サクラ属
志内 利明	技師	植物分類学、トカラ列島フロラ、アオキ

2. 研究課題

- (1) 富山県の植物相と植生に関する調査
- (2) 富山県内の絶滅危惧植物の実態調査、増殖に関する研究
- (3) 導入植物の同定と利用に関する研究

3. 研究報告第4号の発行 平成11年3月28日

- ・ 中田政司・熊谷明彦：岩手県で発見されたイワギク八倍体とその進化的意味 (1-15)
- ・ 兼本 正：琉球列島産アリサンミズ(広義)の核型の多様性 (17-23)
- ・ Syo Kurokawa: Notes on *Flavopunctelia* and *Punctelia* (Parmeriaceae), with description of four new species. (ヒメキウメノキゴケ属とハクテングケ属についての覚え書きおよび4新種の記載) (25-32)
- ・ 志内利明・兼本 正：絶滅危惧植物コナミキの新産地とその染色体数 (33-35)
- ・ 山下寿之：バクチノキの種子発芽 (37-41)
- ・ 山下寿之：富山県婦中町常楽寺のオオツクバネガシとツクバネガシ (43-46)
- ・ 中田政司：ワカサハマギクの自生地とその現状 (47-58)
- ・ 神戸敏成：絶滅危惧植物ミズアオイ(*Monochoria korsakowii* Regel & Maack.)の富山県内における分布について (59-65)
- ・ 大原隆明：富山県フロラ資料 3 (67-78)

4. 平成10年度研究発表「植物園を支える研究活動(Ⅲ)」 平成11年2月21日

- ・ 中田政司：日本海要素植物ワカサハマギクの自生地とその現状
- ・ 大宮 徹：果皮の比較解剖からみたマメ亜科植物の連の問題
- ・ 山下寿之：富山県婦中町常楽寺のオオツクバネガシとツクバネガシ
- ・ 神戸敏成：絶滅危惧植物ミズアオイの富山県内における分布
- ・ 橋屋 誠：富山県で記録されたきのこ(3)
- ・ 兼本 正：ウワバミソウの開花特性
- ・ 高橋一臣：日本海側のチマキザザと太平洋側のアマギザサの比較(2)
- ・ 大原隆明：富山県で新たに生育が確認された植物(3)
- ・ 志内利明：能登半島で発見した絶滅危惧IB類植物コナミキ

5. 論文・学会発表等(平成10年度分。研究報告を除く)

- ・黒川 道
1998. A new record and a new species in *Myelochroa* (Parmeliaceae). J. Jpn. Bot. 73: 12-14
1998. A catalogue of *Heterodermia* (Physciaceae). Folia Cryptog. Estonica 32: 21-25.
- ・中田政司
1998. Studies on the origin of cultivated *Dendranthema* by the analysis of pNN806 repetitive DNA. 日本遺伝学会第70回大会(北海道大学). (共同発表)
- ・山下寿之
1999. 3. 常緑広葉樹二次林におけるハナガシ個体群の更新 -地型と稚樹個体群の分布-. 第46回日本生態学会大会(信州大学). (共同発表)
1999. 3. 氷見市の植生. 「氷見の巨樹名木」. 氷見市教育委員会編. pp. 161-171.
- ・神戸敏成
1998. In vitro propagation utilizing suspension cultures of meristematic nodular cell clumps and chromosome stability of *Lilium x formolongi* hort. Scientia Horticulturae 72: 193-202. (共著)
1998. Improved planting efficiency of Lily (*Lilium x formolongi* hort.) protoplast by silver thiosulfate added to enzyme solution. Breeding Science 48: 159-161. (共著)
- ・兼本 正
1999. 3. ウワバミソウの開花特性. 第29回日本植物分類学会大会(中央大学).
- ・高橋一臣
1998. ヒメアオキの雌雄の空間的分布パターン. 第62回日本植物学会大会(広島大学). (共同発表)
- ・志内利明
1998. ヒメアオキの雌雄の空間的分布パターン. 第62回日本植物学会大会(広島大学). (共同発表)

6. 研究集会

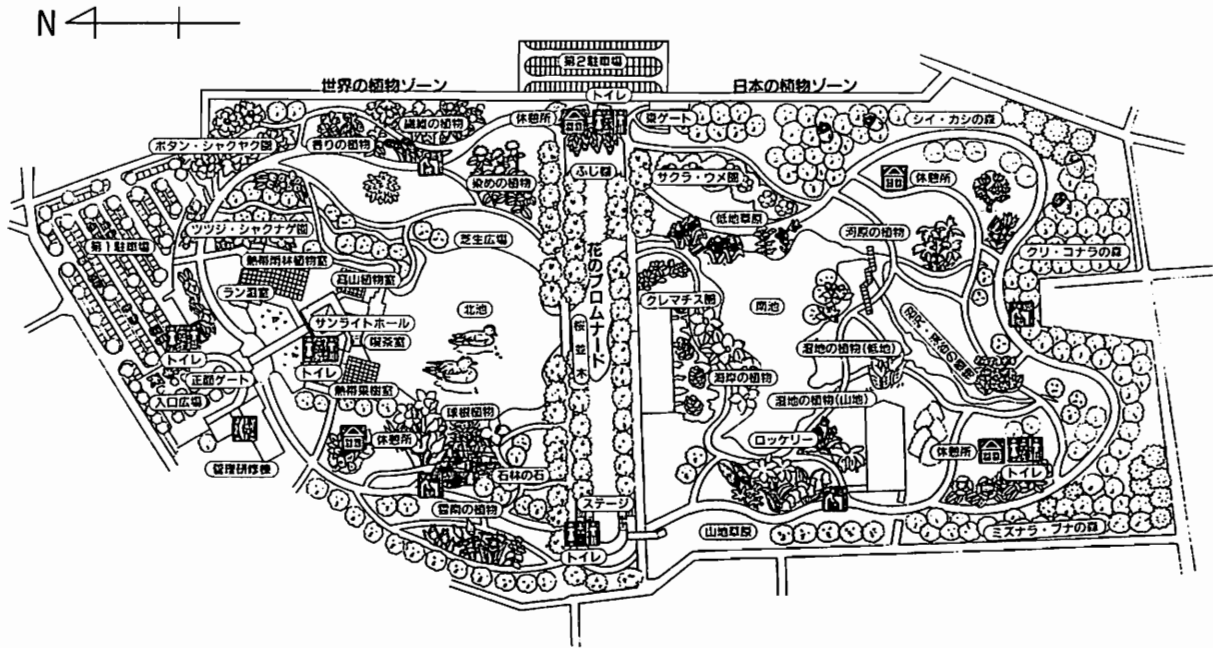
- ・植物学関係機関合同セミナー「ヘテロシス」
毎月最終火曜日の午後6時より研修室にて開催。参加者15~25名。

VI 参考資料

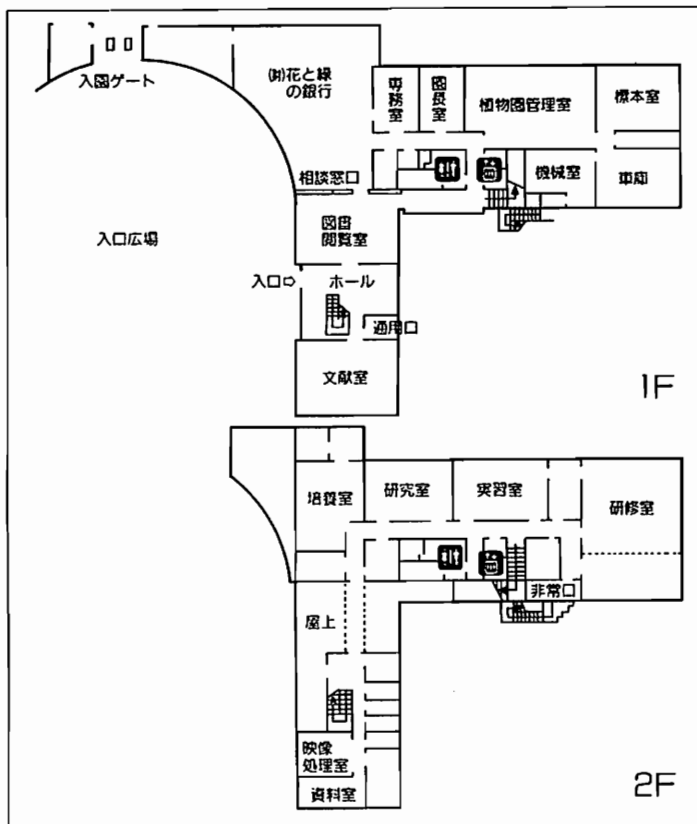
1. 施設概要(着工順)

施設	着工～完成	面積(m ²)	概要
屋外展示園	2.12～5.8	展示区域 16 (ha) 池 3 (ha)	世界の植物ゾーン、日本の植物ゾーン、花のプロムナード。観察用園路5,400m。
管理研修棟	4.8～6.3	2,090	園長室、植物園管理室、(財)花と緑の銀行事務室、専務理事室、研修室、実習室、文献室、図書閲覧室、研究室、培養室、映像処理室、標本室、車庫、機械室他。
作業エネルギー棟	4.8～5.1	303	ボイラー室、作業庫、休憩室他
栽培温室(5棟)	第1期 4.8～5.1 第2期 5.8～6.1	熱帯温室 302 温帯温室 113 暖温帯温室 302 冷室 151 雲南温室 208	
第一駐車場	4.8～5.1	11,600	380台収容
第二駐車場	8.2～8.4	3,444	150台収容
屋外便益施設	4.8～6.1	のべ393	5棟
サンライトホール	5.8～6.8	1,046	企画展示スペース、休憩用ベンチ、映像情報システム
エネルギー棟	5.86.8	568	展示温室用灯油ボイラー、変電設備、自家発電機、中央監視室他
展示温室(4棟)	第1期 5.8～7.1 第2期 6.7～7.6 第3期 7.3～8.3	ラン温室 400 熱帯雨林植物室 890 熱帯果樹室 587 高山植物室 300	
正面ゲート	7.37.9	171	
雲南コーナー	7.98.3	1,500	石林の石 500t、中国雲南省産の植物
外構、入口広場	7.98.3		
東ゲート	7.128.3	27	

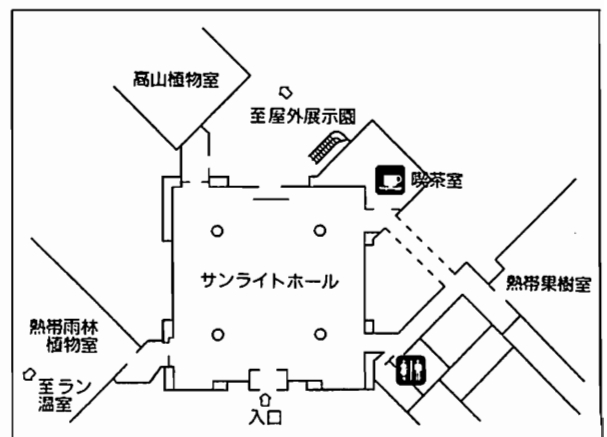
2. 施設平面図



植物園平面図



管理研修棟平面図



サンライトホール平面図

3. 整備事業費

(平成元年～平成7年度)

単位: 百万円

区分	平成元年度	2	3	4	5	6	7	合計
設計監理	26	88	52	21	90	11	9	297
造園工事		716	508	732		91	45	2,092
植栽工事		34	40	301	40	89	162	666
建築工事				863	1,034	1,120	811	3,828
備品			2	92	13		74	181
用地取得		977	959	32			74	2,039
雲南植物					10	3	10	23
石林の石						11	105	116
計	26	1,815	1,561	2,041	1,187	1,325	1,287	9,242

4. 利用統計

(1) 平成10年度月別入園者数(有料)

区分 (月)	個人		団体		地職組	特別観覧				合計	
	大人	小人	大人	小人		大人	小人	大人 団体	小人 団体	大人	小人
4	7,870	712	430	0	70	2,126	240	0	0	10,496	952
5	9,429	683	1,030	0	101	-	-	-	-	10,560	683
6	3,491	158	1,179	8	43	-	-	-	-	4,713	166
7	2,209	188	989	41	28	-	-	-	-	3,226	229
8	3,973	733	432	88	37	237	23	0	0	4,679	844
9	2,578	158	680	18	26	-	-	-	-	3,284	176
10	2,385	119	1,573	5	38	-	-	-	-	3,996	124
11	2,152	160	328	10	33	-	-	-	-	2,513	170
12	893	48	42	0	17	-	-	-	-	952	48
1	1,300	61	56	0	12	-	-	-	-	1,368	61
2	1,501	77	76	0	21	-	-	-	-	1,598	77
3	2,637	193	223	0	101	-	-	-	-	2,961	193
合計	40,418	3,290	7,038	170	527	2,363	263	0	0	50,346	3,723

(2) 平成10年度月別入園者数(無料)

区分 (月)	減免			乳幼 児	その 他	無料合計	
	一般・ 大学・ 高校	小学 生	引率			大人	小人
4	173	1,394	194	1,284	0	367	2,678
5	220	575	608	1,012	0	828	1,587
6	115	389	129	437	13	257	826
7	304	78	91	236	17	412	314
8	18	105	27	437	12	57	542
9	99	468	111	280	8	218	748
10	388	615	385	1,074	5	778	1,689
11	26	180	53	384	7	86	564
12	22	132	21	102	1	44	234
1	7	11	8	124	11	26	135
2	18	14	18	135	5	41	149
3	32	29	43	364	93	168	393
合計	1,422	3,990	1,688	5,869	172	3,282	9,859

(3) 平成10年度月別入園者総数

区分 (月)	総計		
	大人	小人	合計
4	10,863	3,630	14,493
5	11,388	2,270	13,658
6	4,970	992	5,962
7	3,638	543	4,181
8	4,736	1,386	6,122
9	3,502	924	4,426
10	4,774	1,813	6,587
11	2,599	734	3,333
12	996	282	1,278
1	1,394	196	1,590
2	1,639	226	1,865
3	3,129	586	3,715
合計	53,628	13,582	67,210

(4) 全面開園(平成8年)後の入園者数

年度	有料入園者		無料入園者		合計		総計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	
8	126,144	11,172	7,307	20,704	133,451	31,876	165,327
9	72,376	5,455	3,414	13,658	75,790	19,113	94,903
10	50,346	3,723	3,282	9,859	53,628	13,582	67,210
累計	248,866	20,350	14,003	44,221	262,869	64,571	327,440

(5) 研修室等利用団体数

年度	研修室			実習室	合計
	第1	第2	第1+第2		
8	のべ31団体 (1,064人)	4 (60)	25 (1,001)	1 (50)	61 (2,175)
9	43 (1,336)	7 (138)	12 (445)	4 (483)	66 (2,402)
10	21 (630)	4 (51)	29 (967)	3 (20)	57 (1,668)

5. 例規

●富山県植物公園条例(抜粋)

公布 平成5年9月30日 富山県条例第54号
改正 平成8年3月27日 富山県条例第14号
平成9年3月26日 富山県条例第 3号

(目的)

第1条 この条例は、富山が誇る豊かな植生等の自然環境を活用して総合的な植物公園の形成を図ることにより、県民に植物に関する多様な学習と憩いの場を提供し、もって県民の教育及び文化の向上並びに福祉の増進に寄与することを目的とする。

(県の責務)

第2条 県は、前条の目的を達成するため、植物公園の中核となる施設として富山県中央植物園を設置し、当該施設と県、市町村が設置する植物に関する展示等を行う施設との連携及びこれらの施設の利用の増進について必要な措置を講ずるものとする。

(設置)

第3条 県民に対し植物に関する総合的な知識の普及等を行うとともに、県内の植物に関する展示等を行う施設(以下「植物展示施設」という)と連携を図るため、富山県中央植物園(以下「中央植物園」という。)を設置する。

(位置)

第4条 中央植物園は、婦負郡婦中町に置く。

(事業)

第5条 中央植物園は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 植物及び植物に関する資料を収集し、保存し、展示すること。
- (2) 植物に関する専門的な調査研究を行うこと。
- (3) 植物に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 中央植物園及び植物展示施設の利用の増進を図るために必要な連絡調整、技術指導、情報の提供等を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、中央植物園の設置の目的を達成するために必要な事業。

(入園の拒否及び制限)

第6条 知事は、中央植物園に入園しようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入園を拒否することができる。

- (1) 中央植物園の秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき。
- (2) 施設、付属設備、植物又は植物に関する資料(次条第1項において「施設等」という。)を汚損し、又は損傷するおそれがあるとき。

2 知事は、中央植物園の管理上必要があると認めるときは、入園を制限することができる。

(遵守事項等)

第7条 中央植物園に入園したもの(以下この条において「入園者」という。)は、次に掲げる事項を守らねばならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 他の入園者に迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 施設等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (3) 施設等を汚損し、若くは損傷するおそれのある物品又は動物若くは植物を持ち込まないこと。
- (4) その他知事が特に指示した事項

2 知事は、入園者が前項の規定に違反したときは、その者に退園を命ずることができる。

(専用使用の承認)

第8条 中央植物園の施設のうち別表に掲げるものを専用して使用しようとする者は、あらかじめ、知事の承認を受けなければならない。

2 略

3 略

(使用料)

第9条 中央植物園に入園しようとする者及び前条第1項の承認を受けた者(第13条において「専用使用者」という。)は、それぞれ別表に定める金額の入園料又は専用使用料を納めなければならない。

2 中央植物園において特別に展示している植物または植物に関する資料を観覧しようとする者は、1,000円の範囲内で知事が定める金額の特別展示観覧料を納めなければならない。

(使用料の徴収方法)

第10条 入園料、専用使用料及び特別展示観覧料(以下「使用料」という。)は、知事の発行する納入通知書により徴収する。ただし、これにより難いばあいにおいては、口頭又は掲示の方法により現金で徴収する。

2 使用料は、前納とする。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(使用料の減免)

第11条 知事は、特別の理由があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(使用料の還付)

第12条 既に納入した使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(専用使用の承認の取消し等)

第13条 略

(管理の委託)

第14条 中央植物園の管理は、財団法人花と緑の銀行に委託する。

(県有の植物展示施設に対する措置等)

第15条 知事は、県有の植物展示施設のうち、その特色にかんがみ中央植物園と有機的かつ一体的に機能させ、及び利用の増進を図ることが適当であると認められるものを定め、そのために必要な措置を講ずるものとする。

2 知事は、前項の施設を定めたときは、その名称、所在地その他必要な事項を告示しなければならない。

(市町村等の植物展示施設との連携等)

第16条 中央植物園及び前項の施設は、市町村その他の公共団体又は公共的団体が設置する植物展示施設と有機的かつ一体的な利用が図られるよう、これらの施設との密接な連携に努めるものとする。

2 知事は、前項の植物展示施設の設置者の求めに応じて、同項の規定の趣旨を達成するために必要な助言を行い、又は援助の措置を講ずることができる。

(情報の提供)

第17条 知事は、植物展示施設その他関係機関等の協力を得て、植物公園等に関する情報を収集し、県民に対し、これを適切に提供するように努めるものとする。

(規則への委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則 略

別表(第8条、第9条関係)

1 入園料

区 分	単 位	金 額	
		個 人	20人以上の団体
一般、大学の学生及び高等学校の生徒	1人1回につき	600円	480円
中学校の生徒及び小学校の児童		300円	240円

備考 知事が定める期間において午後4時以後で知事が定める時刻以後に入園しようとする者に係る入園料は、1人1回につき300円の範囲内で知事が定める額とする。

2 専用使用料

種別	使用時間区分による金額			超過料金1時間の金額
	9時から16時30分まで	9時から12時まで	13時から16時30分まで	
第1研修室	5,990円	3,000円	3,500円	1,000円
第2研修室	3,000円	1,500円	1,750円	500円
実習室	4,200円	2,100円	2,450円	700円
催し広場	3,720円	1,890円	2,190円	610円

備考

- 1 冷房又は暖房の期間中に第1研修室、第2研修室又は実習室を使用する場合の専用使用料は、この表に掲げる金額に、その額の20パーセントに相当する額を加算した額とする。
- 2 使用時間1時間未満の端数は、1時間として計算する。
- 3 使用時間を短縮した場合においても、専用使用料は、減額しない。

●富山県植物公園条例施行規則(抜粋)

公布 平成5年10月1日 富山県規則第56号

(趣旨)

第1条 この規則は、富山県植物公園条例(平成5年富山県条例第54号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(専用使用の承認申請)

第2条 条例第8条第1項の承認を受けようとする者は、専用して使用しようとする日(次条において「専用使用日」という。)の3月前から2週間前までの間に富山県中央植物園施設専用使用承認申請書(様式第1号)を知事に提出しなければならない。

(専用使用の変更等)

第3条 略

(休園日)

第4条 富山県中央植物園(以下「中央植物園」という。)の休園日は、次に掲げるとおりとする。ただし、知事は、特に必要があると認めるときは、臨時に休園日を定め、又は休園日に開園することができる。

- (1) 木曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日(以下この条において「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日以外の日)
- (2) 休日の翌日(土曜日、日曜日及び休日を除く。)
- (3) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(開園時間等)

第5条 中央植物園の開園時間は、午前9時から午後5時まで(1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午前9時から午後4時30分まで)とする。

2 中央植物園に入園しようとする者は、午後4時30分まで(1月5日から1月31日まで及び11月1日から12月27日までの期間にあっては午後4時)までに入園しなければならない。

3 知事は、特別に必要があると認めるときは、前2項に定める時間を臨時に変更することができる。

(原状回復及び点検)

第6条 略

(施設等の汚損又は損傷の届出)

第7条 略

(細則)

第8条 略

附則 略

様式第1号 略

様式第2号 略

富山県中央植物園事業概要 第1号 (平成10年度)

平成12年2月10日 発行

編集兼発行：富山県中央植物園

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

発行所：財団法人花と緑の銀行

〒939-2713 富山県婦負郡婦中町上轡田42

印刷：中村印刷工業株式会社
